

心身の状態表現に関する日本語教育の諸問題

——医療従事者のグローバル化に向けて——

吉永 尚・宮田 久枝・鈴木 庸子

1. はじめに

現在、新興国における著しい経済発展に伴い、生活水準は向上し、医療レベルにおいても先進国に急速に近付きつつあると言う。医療と経済は相互に関連し、先進国全般で深刻化する少子高齢化と相まって、質の高い医療従事者人材の確保は国際的な競争の時代に入ったと言われていいる。2008年、EPAに基づきインドネシアから看護師候補者・介護福祉士候補者を受け入れ日本語教育を施すと共に、看護・介護関連の教育を行い国家試験に備えるという国家プロジェクトが開始されているが、合格者は僅少（254人中3人）であり日本語、特に漢字が問題とされている。国家試験に出題される医療用語には平易ではない漢字表記が多く、母語が漢字圏であるかどうかという事と大きく関わっているとされる。最近の人材グローバル化に伴い、医療関係の国家試験合格者では中国出身者が倍増していると言われており、漢字圏出身である事は一つのメリットであると考えられる。しかし、医療従事者として実際に働くためには、医療関係の専門知識や円滑なコミュニケーション能力の養成が、医療本来の目的である人々の健康を追求する事において最優先されるべき問題であり、十分な教育研究がなされるべきであろう。

本稿は、以上の状況を踏まえ、医療従事者として最重要と思われる心身の状態表現に関するコミュニケーション能力の養成を目指し、特に今後従事者が増加すると見られる中国語母語話者を中心とする学習者に対して、日本語表現上の誤用分析調査を行い日本語教育上の諸問題について考察する事を目的としている。日本の大学別科・大学学部で学んでいる日本語学習者の作文を資料として、どのような心身の状態表現を使用しているかを調査し心身の状態表現の理解度を測る調査を行った。調査結果を分析し、どのような心身の状態表現が理解できているか、またできていないかを観察し、今後、医療分野を目指す学習者への日本語教育の諸問題について考えたい。

2. 心身の状態表現についての理解度を測るアンケート調査

本研究では、複数の学校で日本語学習者の心身の状態表現についての理解度を測るアンケート調査を行った。アンケート項目はいずれも、作文や会話で理解度が低く、誤用や非用が多いものを抽出した。実施アンケートについては、以下に示すこととする。

日本語の心身状態表現についてのアンケート

あなたの国籍 () あなたの日本語学習歴 ()

❖ 次の文の |a/b/c| について、正しいものには○を、正しくないものには×、どちらともいえないものには△を、それぞれの後の () の中に書いてください。

- 1) 今日は暑くてたくさん汗をかいたから、お風呂に入らないと |a () 気分が悪い/b () 気持ちが変わる/c () 気分がいい|
- 2) かぜをひいて体がとても |a () うつとうしい/b () くるしい/c () だるい|。
- 3) 昨日から歯茎が腫れて |a () ちくちくする/b () ずきずきする/c () むかむかする|。
- 4) 私はバスが苦手で長時間乗ると、胃が |a () じんじんする/b () ずきずきする/c () むかむかする|。
- 5) 最近ではストレスで胃が |a () きりきりする/b () ずきずきする/c () どきどきする|。
- 6) 病気で長い間寝ていたので、久しぶりに歩くと |a () むかむかする/b () ふらふらする/c () ぞくぞくする|。
- 7) 昨日から咳をすると胸が |a () しびれます/b () いたみます/c () うずきます|。
- 8) 今日は長い間立っていて、すっかり足が |a () ふくれて/b () はって/c () むくんでしまった|。
- 9) 故郷の料理を食べると、いつも家族の事を |a () たのしく/b () なつかしく/c () おかしく| 思い出します。
- 10) 彼は恋人にふられて |a () さびしそうです/b () くるしそうです/c () だるそうです|。

❖ 以上でアンケートは終わりです。ありがとうございました。

アンケート調査の被験者は、KI 大学別科生（大学進学のための予備教育）20 名（中国）学習レベル中級前半、KK 大学 1 年生 25 名（中国 24 名、台湾 1 名）学習レベル中級後半、H 大学 1 年生 16 名（中国 12 名、韓国 2 名、ベトナム 1 名、マレーシア 1 名）学習レベル中級後半、N 大学大学院生（日本語文化専攻）11 名（中国 5 名、台湾 5 名、ロシア 1 名）学習レベル上級、S 大学 2 年 4 名（中国）学習レベル上級、H 大学 2 年 6 名（中国）学習レベル上級、の計 82 名である。数値が示す様に、被験者の 95% は中国語母語話者である。以下、アンケートの調査結果を学習者のレベル別に 4 つのグループに分け、表に示す事とする。表 1 は中級前半、表 2 は中級後半、表 3 は上級 A、表 4 は上級 B の調査結果を示す。上級を AB に二分した理由は、A は日本語を専門的に学んでいるグループであるのに対し、B は上級レベルであっても日本語を専門的に学んでいないグループであり、両者で語彙の理解・使用に相違が見られたからである。

表 1：中級前半 学習者 20 名（中国）についてのアンケート調査結果

() 内数字は人数、下線は正答、正答以外の×は省略

正答	正答以外のバリエーション
1) b○(1)	a○b○(8) a△b○(3) a△b△c○(1) a○b△(2) a○b×c△(1) a○b×(3) a△b×c○(1)
2) c○(4)	ab△c○(3) a△c○(3) a△b○c○(2) a○c○(1) b○c○(1) abc○(1) a○b○c△(1) b○c△(1) a○c×(1) b○c×(2)
3) b○(0)	a○b○(7) a△b○c△(1) a○b×c○(1) a○b△(4) abc△(3) a○b×(4)
4) c○(3)	a△c○(5) ab△c○(1) a○b△c○(1) ac○(2) bc○(3) a○c△(1) c△(1) abc△(1) a○c×(1) a○b○c×(1)

5) a○(4)	$\frac{a}{a \times b} \triangle (1)$ $\frac{ab}{a \times b} \circ (3)$ $\frac{a}{a \times b} \triangle (3)$ $a \triangle b \circ c \circ (1)$ $a \triangle b \circ c \triangle (1)$ $a \times bc \circ (2)$
6) b○(6)	$a \triangle b \circ (1)$ $a \circ b \circ (2)$ $\frac{b}{b \circ c} \triangle (3)$ $\frac{b}{b \circ c} \circ (2)$ $a \circ b \triangle c \circ (1)$ $a \circ b \times c \circ (1)$ $a \circ b \times (1)$ $abc \times (1)$ $b \times c \circ (1)$ $b \triangle c \circ (1)$
7) b○(1)	$a \circ b \circ (2)$ $a \triangle b \circ (1)$ $\frac{b}{b \circ c} \circ (2)$ $\frac{b}{b \circ c} \triangle (2)$ $a \circ bc \triangle (2)$ $a \circ b \times (3)$ $a \circ b \times c \circ (2)$ $a \triangle b \times c \circ (1)$ $abc \triangle (1)$ $abc \times (1)$ $b \times c \circ (1)$
8) c○(4)	$a \triangle c \circ (1)$ $\frac{ac}{abc \triangle (1)} \circ (3)$ $ab \triangle c \circ (2)$ $\frac{abc}{abc \triangle (1)} \circ (1)$ $b \triangle c \circ (1)$ $a \circ c \times (4)$ $a \circ c \triangle (2)$ $a \triangle bc? (1)$
9) b○(7)	$ab \circ (5)$ $a \triangle b \circ (3)$ $\frac{b}{b \circ c} \circ (1)$ $a \circ b \circ c \triangle (1)$ $\frac{abc}{abc \circ (1)} \circ (1)$ $a \circ b \triangle (2)$
10) a○(1)	$\frac{a}{a \times b} \triangle (4)$ $\frac{a}{a \times b} \circ (3)$ $\frac{a}{a \times b} \circ (5)$ $\frac{a}{a \times b} \triangle (2)$ $ab \triangle (1)$ $a \times b \circ c \triangle (1)$ $ab \times c \circ (1)$ $a \times b \circ (1)$ $abc \times (1)$

1)~10) の正答率

	1)	2)	3)	4)	5)	6)	7)	8)	9)	10)
正答	5%	20%	0%	15%	20%	30%	5%	20%	35%	5%
正答を含む回答	55%	55%	40%	60%	35%	40%	35%	40%	55%	70%
合計	60%	75%	40%	75%	55%	70%	40%	60%	90%	75%

表 2：中級後半 41 名（中国 36 名、台湾 1 名、ベトナム 1 名、マレーシア 1 名、韓国 2 名）についてのアンケート調査結果

() 内数字は人数、下線は正答、正答以外への×は省略

正答	正答以外のバリエーション
1) b○(10)	$a \circ b \circ (5)$ $a \triangle b \circ (7)$ $\frac{ab}{a \circ b} \circ (1)$ $a \triangle b \circ c \triangle (1)$ $a \circ b \triangle (5)$ $a \circ b \times (9)$ $a \circ c \triangle (1)$ $a \circ b \times c \circ (1)$ $b \times c \circ (1)$
2) c○(15)	$a \triangle b \circ c \circ (2)$ $ab \triangle c \circ (1)$ $a \triangle c \circ (1)$ $\frac{ac}{abc \triangle (2)} \circ (3)$ $a \circ b \triangle c \circ (1)$ $\frac{abc}{abc \triangle (2)} \circ (1)$ $b \triangle c \circ (5)$ $abc \triangle (2)$ $\frac{b}{b \circ c} \triangle (3)$ $a \triangle b \circ c \triangle (2)$ $a \circ c \triangle (1)$ $ab \circ c \triangle (1)$ $a \triangle b \circ c \times (1)$ $b \circ c \times (1)$ $a \triangle bc? (1)$
3) b○(1)	$a \triangle b \circ c \triangle (2)$ $a \triangle b \circ (2)$ $\frac{b}{b \circ c} \triangle (1)$ $a \circ b \triangle (1)$ $abc \triangle (16)$ $ab \triangle c \circ (1)$ $bc \triangle (1)$ $b \triangle c \circ (2)$ $a \circ b \times (8)$ $a \circ b \times c \triangle (2)$ $b \times c \circ (3)$ $a \triangle bc? (1)$
4) c○(4)	$a \triangle c \circ (2)$ $ab \triangle c \circ (1)$ $\frac{abc}{a \triangle b \circ c \triangle (2)} \circ (1)$ $\frac{ac}{a \triangle bc? (1)} \circ (1)$ $bc \circ (1)$ $a \circ c \triangle (2)$ $a \circ bc \triangle (4)$ $abc \triangle (11)$ $a \triangle b \circ c \triangle (2)$ $\frac{b}{b \circ c} \triangle (1)$ $bc \triangle (2)$ $b \circ c \times (4)$ $a \circ c \times (2)$ $ab \circ c \times (1)$ $ab \triangle c \times (1)$ $a \triangle bc? (1)$
5) a○(3)	$\frac{a}{a \times b} \triangle (7)$ $\frac{a}{a \times b} \circ (1)$ $a \triangle b \circ c \triangle (2)$ $\frac{abc}{a \times b \circ (5)} \triangle (8)$ $ab \triangle (3)$ $a \triangle b \circ (2)$ $a \times bc \triangle (2)$ $a \times c \circ (3)$ $a \times b \circ c \triangle (1)$ $a \times b \triangle c \circ (1)$ $abc \times (1)$ $a \triangle bc? (1)$ $a \triangle b \times (1)$
6) b○(11)	$a \triangle b \circ (1)$ $a \triangle b \circ c \triangle (1)$ $\frac{b}{b \circ c} \triangle (2)$ $a \circ b \circ c \triangle (2)$ $a \circ b \triangle (1)$ $a \circ bc \triangle (1)$ $\frac{abc}{a \triangle bc? (1)} \triangle (9)$ $b \triangle c \circ (1)$ $a \circ b \times c \triangle (1)$ $a \triangle b \times c \circ (1)$ $a \triangle b \times c \triangle (3)$ $a \circ b \times (2)$ $b \times c \circ (4)$
7) b○(7)	$a \triangle b \circ c \triangle (6)$ $\frac{a}{abc \triangle (6)} \triangle (1)$ $a \triangle b \circ c \circ (1)$ $a \triangle b \circ (1)$ $a \circ b \triangle (1)$ $a \circ bc \triangle (2)$ $bc \triangle (1)$ $b \times c \triangle (2)$ $a \circ b \times (5)$ $a \triangle b \times c \circ (2)$ $a \circ b \times c \circ (1)$ $b \times c \circ (5)$
8) c○(7)	$a \triangle c \circ (1)$ $a \circ b \triangle c \circ (1)$ $b \triangle c \circ (1)$ $\frac{abc}{abc \times (1)} \circ (1)$ $a \circ bc \triangle (3)$ $a \circ c \triangle (1)$ $abc \triangle (8)$ $a \triangle b \circ c \triangle (2)$ $ac \triangle (2)$ $bc \triangle (1)$ $a \circ c \times (8)$ $a \triangle b \circ c \times (2)$ $a \triangle b \times c \circ (1)$ $abc \times (1)$ $a \triangle bc? (1)$
9) b○(27)	$\frac{ab}{b \triangle (1)} \circ (2)$ $\frac{a}{ab \triangle (1)} \triangle (2)$ $\frac{ab}{ab \triangle (1)} \circ (1)$ $a \triangle b \circ (1)$ $\frac{b}{b \circ c} \triangle (3)$ $\frac{ab}{ab \triangle (1)} \circ (1)$ $a \circ b \triangle (2)$
10) a○(6)	$\frac{a}{a \triangle (1)} \circ (1)$ $\frac{a}{a \triangle (1)} \circ (1)$ $\frac{a}{a \triangle (1)} \triangle (5)$ $\frac{a}{a \triangle (1)} \circ (1)$ $a \circ b \circ c \triangle (1)$ $a \circ b \circ (6)$ $\frac{a}{a \triangle (1)} \circ (1)$ $b \circ (1)$ $a \triangle (1)$ $ab \triangle (1)$ $a \triangle b \circ (2)$ $a \triangle b \circ c \triangle (6)$ $a \times b \circ (6)$ $a \times c \circ (1)$ $abc \times (1)$

1)~10) の正答率

	1)	2)	3)	4)	5)	6)	7)	8)	9)	10)
正答	24%	37%	1%	10%	7%	27%	17%	17%	66%	15%
正答を含む回答	34%	34%	12%	15%	20%	15%	22%	22%	24%	41%
合計	58%	71%	14%	25%	27%	42%	39%	39%	90%	56%

表3：上級 A 15名（中国9名、台湾5名、ロシア1名）についてのアンケート調査結果
 () 内数字は人数、下線は正答、正答以外の×は省略

正答	正答以外のバリエーション									
1) $b \circ (4)$	$a \circ \underline{b} \circ (1)$	$a \triangle \underline{b} \circ (5)$	$a \circ b \triangle (1)$	$a \circ b \times (4)$						
2) $c \circ (5)$	$a \triangle \underline{c} \circ (1)$	$b \triangle \underline{c} \circ (4)$	$b \circ \underline{c} \circ (3)$	$b \circ c \triangle (1)$	$b \circ c \times (1)$					
3) $b \circ (5)$	$a \circ \underline{b} \circ (2)$	$b \circ \underline{c} \circ (1)$	$b \triangle \underline{c} \circ (1)$	$a \circ b \triangle \underline{c} \circ (1)$	$a \circ \underline{bc} \triangle (1)$	$a \circ b \times (1)$				
	$b \times \underline{c} \circ (2)$	$a \circ \underline{b} \times \underline{c} \triangle (1)$								
4) $c \circ (3)$	$a \triangle \underline{bc} \circ (1)$	$ab \triangle \underline{c} \circ (1)$	$a \circ \underline{b} \times \underline{c} \circ (1)$	$b \triangle \underline{c} \circ (1)$	$b \circ \underline{c} \triangle (1)$	$a \circ \underline{b} \times \underline{c} \triangle (1)$				
	$a \circ \underline{c} \times (3)$	$a \circ \underline{b} \circ \underline{c} \times (1)$	$a \triangle \underline{b} \circ \underline{c} \times (1)$	$a \circ \underline{bc} ? (1)$						
5) $a \circ (3)$	$a \circ \underline{b} \circ (4)$	$a \circ \underline{b} \triangle (3)$	$a \times \underline{b} \circ (5)$							
6) $b \circ (9)$	$a \triangle \underline{b} \circ (2)$	$b \circ \underline{c} \triangle (1)$	$b \circ \underline{c} \circ (1)$	$b \triangle \underline{c} \circ (1)$	$b \times \underline{c} \circ (1)$					
7) $b \circ (7)$	$a \triangle \underline{b} \circ (1)$	$b \circ \underline{c} \triangle (5)$	$b \triangle \underline{c} \circ (1)$	$a \circ \underline{b} \times \underline{c} \circ (1)$						
8) $c \circ (3)$	$a \triangle \underline{c} \circ (2)$	$b \triangle \underline{c} \circ (1)$	$\underline{bc} \circ (1)$	$a \circ \underline{c} \triangle (2)$	$a \circ \underline{b} \triangle \underline{c} \times (1)$	$a \circ \underline{bc} \times (2)$	$a \circ \underline{c} \times (3)$			
9) $b \circ (9)$	$a \triangle \underline{b} \circ (5)$	$a \circ \underline{b} \circ \underline{c} \triangle (1)$								
10) $a \circ (4)$	$a \circ \underline{b} \triangle (1)$	$a \circ \underline{b} \circ (5)$	$a \circ \underline{bc} \circ (1)$	$a \triangle \underline{b} \circ (2)$	$a \times \underline{b} \circ (2)$					

1)~10) の正答率

	1)	2)	3)	4)	5)	6)	7)	8)	9)	10)
正答	27%	33%	33%	20%	20%	60%	47%	20%	60%	27%
正答を含む回答	40%	53%	20%	27%	47%	27%	47%	27%	40%	47%
合計	67%	86%	53%	47%	67%	87%	94%	47%	100%	74%

表4：上級 B 6名（中国）についてのアンケート調査結果
 () 内数字は人数、下線は正答、正答以外の×は省略

正答	正答以外のバリエーション									
1) $b \circ (3)$	$a \triangle \underline{b} \circ (1)$	$a \circ \underline{b} \times (2)$								
2) $c \circ (1)$	$a \triangle \underline{c} \circ (2)$	$b \triangle \underline{c} \circ (2)$	$ab \circ \underline{c} \circ (1)$							
3) $b \circ (0)$	$a \triangle \underline{b} \circ \underline{c} \triangle (1)$	$abc \triangle (2)$	$a \circ \underline{bc} \triangle (1)$	$a \circ \underline{b} \times \underline{c} \triangle (1)$	$ab \times \underline{c} \circ (1)$					
4) $c \circ (0)$	$b \triangle \underline{c} \circ (2)$	$a \circ \underline{bc} \triangle (1)$	$b \circ \underline{c} \triangle (1)$	$a \circ \underline{c} \times (1)$	$abc \triangle (1)$					
5) $a \circ (2)$	$a \circ \underline{b} \triangle (1)$	$a \triangle \underline{b} \circ (1)$	$ab \triangle (2)$							
6) $b \circ (2)$	$a \triangle \underline{b} \circ (1)$	$a \triangle \underline{b} \circ \underline{c} \triangle (1)$	$abc \triangle$	$a \circ \underline{b} \times \underline{c} \triangle (1)$						
7) $b \circ (0)$	$a \triangle \underline{b} \circ (1)$	$b \circ \underline{c} \triangle (1)$	$a \triangle \underline{b} \times \underline{c} \circ (1)$	$a \triangle \underline{b} \times \underline{c} \triangle (1)$	$a \circ \underline{bc} \times (1)$	$a \circ \underline{b} ? (1)$				
8) $c \circ (0)$	$a \triangle \underline{c} \circ (1)$	$a \circ \underline{c} \times (1)$	$a \triangle \underline{b} \circ \underline{c} \times (1)$	$b \circ \underline{c} \times (2)$	$b \circ \underline{c} ? (1)$					
9) $b \circ (3)$	$a \triangle \underline{b} \circ (3)$									
10) $a \circ (1)$	$a \circ \underline{b} \triangle (1)$	$a \triangle \underline{b} \circ (1)$	$a \triangle \underline{b} \circ \underline{c} \triangle (1)$	$a \times \underline{b} \circ (2)$						

1)～10) の正答率

	1)	2)	3)	4)	5)	6)	7)	8)	9)	10)
正答	50%	17%	0%	0%	33%	33%	0%	0%	50%	17%
正答を含む回答	17%	83%	17%	33%	17%	33%	33%	17%	50%	17%
合計	67%	100%	17%	33%	50%	66%	33%	17%	100%	34%

3. 調査結果の分析—日本語学習者の心身の状態表現に対する理解度—

全体の傾向を考えると、学習レベルが中級前半、中級後半、上級と上がるにしたがって正答率は上がっている。しかし語彙によりかなりのばらつきが見られる。特に日本語を専攻していない上級 B の学習者では 10 問中正答がないものが 4 問もあり、全員日本語能力試験 1 級取得者ではあるが、日本語の授業は週に 1 コマしか受けておらず、日本語を意識的に学ぶ機会が少ないことが一因ではないかと思われる。

次に語彙と学習レベルの関係について見ると 1) 「a 気分が悪い b 気持ちが悪い」の正答率は中級前半 5%、中級後半 24%、上級 A 27%、上級 B 50% となっている。ところが、正答を含むものを合わせると中級前半 60%、中級後半 58%、上級 A、B ともに 67% とほとんど変わらない。しかし中級前半では、「気持ちが悪い」を正答とした 11 名中「気分が悪い」も正答だとした学習者が 8 名もあり、「気分が悪い」を正答とした合計 17 名（85%）は、「気持ちが悪い」を正答とした 12 名（60%）を上回る。このことから中級前半では「気分が悪い」と「気持ちが悪い」の違いを理解できていない上に「気分が悪い」を正答と考えている人が多いということが分かる。中級後半でも「気分が悪い」を正答とした学習者が 22 名（54%）おり、「気持ちが悪い」を正答とした 24 名（58%）とほとんど変わらず、このレベルでも混同が見られる。上級 A では「気持ちが悪い」を正答とした学習者が 6 名（40%）、上級 B では 2 名（33%）おり、上級になっても混同している学習者が少なからずいることが分かる。更に「気持ちが悪い」を誤答（×）とした学習者は、中級前半 25%、中級後半 27%、上級 A 27%、上級 B 33% と正答率とは逆の結果になっている。これは学習レベルが上がるにつれ、区別が付かない状態から誤答であれ、2 つの言葉を何らかの形で区別しているからだと考えられる。また、他のグループに比べ上級 B の正答率が 50% と高くなっているが、多くが 4 年近く日本に在中で、1) の語彙は日常的に使う機会が多い言葉であり、生活の中で理解が深まった語彙である可能性がある。

3) 「a ちくちくする b ずきずきする c むかむかする」では、中級前半 0%、中級後半 1%、上級 A 33%、上級 B 0% と上級 A を除いてかなり正答率が低い。中級前半では「ちくちくする」を正答とした学習者が 16 名（80%）に上り、「どちらともいえない」4 名（20%）を合わせると 100% となる。これは、「ちくちくする」と「ずきずきする」という 2 つの語彙を全く知らないか、あるいは理解していないのではないかと思われる。中級後半でも「ちくちくする」を正答とした学習者は 11 名（27%）、「どちらともいえない」は 21 名（51%）で合わせると 77% で

ある。上級 A では「ちくちくする」を正答とした学習者が 4 名 (27%) で、「どちらともいえない」とした学習者はいなかった。上級 B では「ちくちくする」を正答とした学習者が 2 名 (33%)、「どちらともいえない」が 3 名 (50%) で合わせると 88% である。中級後半、上級 B 共に「ちくちくする」と「ずきずきする」という語彙を理解できていない可能性が高い。上級 A に関してはどちらも 1 級レベルの語彙であることから、ある程度理解して選んだと考えられる。ただ、3) に関しては、「歯茎が腫れる」という前文が原因となっている可能性も考えられる。以上、調査結果を分析し日本語学習者の心身の状態表現に対する理解度について述べた。

4. 考察と今後の課題

前節での調査結果により、習得レベルが高い学習者の正答率が全般的に高くなっている事が結論付けられた。この事実は、効率的恒常的に学習を持続すれば、必ず一定の進歩が期待できるという事を示している。

今回の調査被験者では 95% が中国語母語話者であるが、特に、レベルによって「気分が悪い」「気持ちが悪い」の正答率に差異が見られた。中国語ではこれらの表現は両方とも「感觉得不好」と区別しない傾向があり母語干渉も考えられるが、いずれにしても、日本語特有の心身表現の細かさにより理解習得に時間がかかっていると考えられる。

また、「ちくちくする」「ずきずきする」など心身の状態を表わす擬態語も、学習者にとって同様に習得が困難であると思われるが、医療の現場では使用頻度が高く、基本的なものは習得が必要であろう。吉永 (2011) では、KY コーパスにおいてもこれらの語彙表現の誤用が多いことを提唱している。

一般的に看護・介護現場で要求されるケア (care) は配慮・気遣いといった広義の意味から、専門的行為を含む世話という意味を持ち、対象はあくまでも人間である。相手の心理を察した言葉掛け、情報の提供・交換が必要となり、それを通してのみケアの対象者と提供者に信頼性が生まれる。あるいは、少なくとも一方が他方の表現意図を理解せねばならない。身振りや表現など、非言語的コミュニケーションも含まれ、ケアにおけるコミュニケーションによる双方の共通理解のもとに健康問題は適切な医療によって積極的に解決される事ができる。これには、双方の関係性から得られる情報、医療に必要な的確な情報が必須となる。ケア提供者は自らの向上心の基にケア対象者に向き合い配慮するべきであり、意志表現と受け取りには細心の努力が払われるべきである。

医療のグローバル化にあって、異文化を背景とする外国人ならではのケアは存在するであろうし、特にアジア文化圏での高齢者を大切にする習慣などのプラス面も少なくないと思われるが、言語面での問題は是非とも解決する事が必要である。外国人医療従事者の言語面での不安について、「風呂の温度の質問に対する答えで年配者がよく用いる「いい按配」という意味が理解できず不安を感じた」という報告があるが、上記の様な「気分が悪い」「気持ちが悪い」の使い分け

や擬態語表現を踏まえ、どのような心身の状態表現の理解習得が医療従事者にとって必要であるかを考慮した上で、効率的かつ明示的に教えていく方法を考える事が重要であると思われる。

また、コミュニケーションを円滑にし、相手の誤解を防ぐためには、比較的習得が簡単で頻繁に使う語彙・フレーズを中心に、早期から繰り返し学習する事が望ましいと判断され、指導上の留意点として次の様な項目が考えられる。

1. 医療現場でよく使う心身の状態表現の適切な説明、例文提示と反復練習。
2. ロールプレイなど、場面に応じたコミュニケーション力の養成を目指した言語教育の徹底。
3. 日本人特有の婉曲表現や省略表現についての理解習得と、異文化ギャップについての確認。

また、言語習得的な観点から見て、中国語母語話者に見られる心身の状態表現の誤用について他の言語話者と比較すると、日中両国語とも心理表現が多様である事による「多対多」の対応関係の複雑さによるマイナスの転移が大きな原因となっていると思われる。また、語彙だけでなく、人称制限や動詞のアスペクト表現、品詞性の揺れ、格助詞などの文法的な相違も習得を困難にしていると思われる。これらの効率的な教育方法をさらに詳細に研究する事や、理解定着を促進するための具体的な方策について考えていく事も、今後の研究課題としたい。

最近の日本語教育の方向性は、従来の文法シラバス中心の「テラーメイドの日本語教育」から、「生活者・就業者としての日本語教育支援」や「看護・介護の現場における専門的日本語教育」、即ち「オーダーメイドの日本語教育」に流れが大きくシフトしていると言われていたが、調査に基づいた具体的な研究報告や教材は、まだまだ少ないのが現状である。

布尾（2011）では、候補者の国家試験合格率が低い事の原因として様々な面でのリソースの不足、即ち日本語教育と医療両分野について知識がある人材の不足、外国人医療従事者に対する日本語教育ノウハウの不足、総合的教材の不足などを挙げている。

EPA のみならず、医療を学ぶ目的で来日した留学生が中国を中心に増加している中で、文化の相違や言語習慣の相違が原因となってコミュニケーションを難しいものになっている事は事実である。また、現場のニーズに即応した教材や研究も少ない状況を鑑み、医療従事者育成のための効率的なコミュニケーションマニュアル作成の必要性も無視できない状況であると判断する。

この分野での問題点は数多いが、長期的な展望に基づいた地道な言語教育が求められている中で、一つの叩き台として稿を改め、基本的なコミュニケーションマニュアルを最終的な研究成果として編集作成する予定である。

（本稿は平成 22～23 年度園田学園女子大学共同研究「心身の状態表現の日中対照と誤用分析」の研究報告の一環である。）

引用文献

岡田敬司（1998）『コミュニケーションと人間形成 かかわりの教育学Ⅱ』 ミネルバ書房, p 4.

参考文献

赤坂智子・羅謙（2000）『気持ちを伝える中国語表現』 実務教育出版.

広井良典（2000）『ケア学－越境するケアへ』 医学書院.

神吉宇一（2011）「日本社会にとっての「外国人介護従事者の受け入れ」を考える（前編）」『月刊日本語』
2011年1月号, pp.66-67.

Leech, Geoffrey N（1971）*Meaning and the English verb*. London : Longman Group Ltd.

名嶋義直（2011）「日本語教育におけるコミュニケーション教育の諸問題 特集：コミュニケーション教育の最前線」『日本語学』 vol.30-1, pp.62-77.

布尾勝一郎（2011）「海外からの看護師候補者に対する日本語教育 特集：医療のことば」『日本語学』 vol.30-2, pp.18-28.

迫田久美子（2002）『第二言語習得研究』アルク.

吉永尚（2011）「中国語話者における心理表現上の母語干渉について」『園田学園女子大学論文集』 第45号, pp.167-180.

张国宪（1995）「現代汉语的动态形容词」『中国语文』中国社会科学院语言研究所.

张国宪（1998）「現代汉语形容词的体及形态化历程」『中国语文』中国社会科学院语言研究所.

張麟声（2001）『日本語教育のための誤用分析』 スリーエーネットワーク.

[よしなが なお 日本語教育・日本語学]

[みやた ひさえ 看護学・助産学]

[すずき ようこ 日本語教育]